



卒業生

石上 諄さん

就職先 | KDDI株式会社

社会学専攻 2018年度卒業
東京都立国分寺高等学校 出身

社会学という

幅広い学術で培った視野とフィールドワークで得た聴く力

話すことより聴くことを大切に

「社会学では経済や政治学とも違う社会の広い分野が学べる」と高校時代に先生に聞いたのが、社会学に興味を持ったきっかけでした。当時はまだやりたいことが定まっていなかったため、社会学という広い分野から自分の興味があることをみつけようと考え、中央大学に進学。社会学だけでなく、興味があった社会情報学の授業も履修できたのでSNSについてなど現在の仕事に結びつく学びも得ることができました。

ゼミ活動で行った式根島でのフィールドワークでは、観光・農業といった産業ごとにチームを分け、自転車で島を駆けまわりながら現地のヒアリング調査を実施。現地の方とのやりとりやチームメンバーのとりまとめなどを経験できました。また、自分たちが事前に描いていた課題と現地で聞きとった結果が違っていたことで「現地に赴いて一次情報をとる」「表層的な課題ではなくその真因を考える」という大切さを痛感。そこで得た考え方・精神は今の仕事で「まずは、話すことより聴くことを」という、お客さまとの向き合い方の基本になっているように思います。

お客さまと一緒に理想を実現する「何でも屋」

「安定しつつ、顕著に成長を続けることができる会社」を軸に、エネルギー業界、通信業界などのインフラ関連を中心に就活していました。その中で広い裾野を持つ通信業界に興味を持ち、KDDIへ入社。現在はメディア・エンタメ系のお客様に向け、法人営業を行っています。お客さまの通信環境を構築してリモートワークなど働き方改革を実現したり、メディア分野として世界的スポーツイベントの映像伝送にも携わりました。現在はテレビ局がテレビに頼らずとも、インターネット配信などで収益を得られる仕組みづくりやメタバースとメディアコンテンツの融合について取り組んでいます。

近年の通信会社は「何でも屋」。通信だけでなく、お客さまの要望からさまざまな分野の理想実現に向けて伴走するパートナーです。お客さまとは気軽に先方に向向いて雑談の中で相談を受けるような信頼関係を築くことができ、自分らしい仕事の仕方が分かってきました。今後もお客さまの課題解決に向き合い、その理想と一緒にカタチにしていきたいです。